

## 豊島区リノベーションまちづくりの今後の展開（論点整理）について

## 現 状（課題）

## ■不動産オーナー

- 不動産オーナーの空き家活用に対して消極的・啓発しても効き目なし  
空き家等について「特に困っていることはない」、「利活用するつもりはない」という声が多い（空き家等調査においても各 59.3%、42.0%）

## ■公共空間・公共施設

- 公共空間・施設（区有施設）の利活用に関する意識が希薄、部署横断が不十分

## ■まちづくり会社（プレーヤー）

- まちづくり会社（プレーヤー）は地方都市と比べて非常に多い  
パブリックマインドの有無は別とし、まちづくり会社（プレーヤー）は溢れており、収益性のある物件の活用は黙っていても進んでいる

## ■リノベーションスクール

- スクール開催は2回（3月・9月）  
情報発信力は低下（内容的には2回目の方が充実していたがインパクトは弱）  
スクール提案の事業化率が低調（案件確定がスクール直前となったことなども要因）

## 区の今後の取組み

## ○職員の意識改革・部署横断

職員意識がない、横断体制も不十分な現状を変えなければならない

## ○公共空間・施設の案件化

## ○条例の制定

公民連携のための条例

空き家等ストック活用のための条例

## ○支援制度の構築

認証制度や融資制度の設立

## ○ビジネスサポートセンターの充実・活用

創業・起業の支援制度の充実・活用

大都市におけるリノベーションまちづくりの展開（としまスタイルの確立）